

医師国家試験の結果

去る 3 月 18 日、第 105 回医師国家試験の合格発表がありました。本学の新卒者は 96 名中 85 名合格 (88.5%、全国平均 92.6%)、既卒者を含めると、102 名中 90 名が合格 88.2% (全国平均: 89.3%) でした。残念ながら全国平均を下回る結果となりました。

今の国家試験は、より臨床的な、解釈・問題解決能力が要求されています。4 年次までに基礎医学・臨床医学の基礎的な理解を固め、5 年次からの臨床実習で具体的なイメージを描き、断片的だった知識を系統的な理解へと深めることが、国家試験の合格につながります。「学問に王道なし」を再認識し、勉学に励んでほしいと思います。

なお、本院での研修予定者に関しては、26 名中 23 名合格。1 年目を大学で研修する人数は 16 名となります。新社会人としての自覚を持ち、新米医師として研鑽に励むよう指導致します。皆様の温かいご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひします。(卒後臨床研修センター, 江村・吉田)

保健師・助産師・看護師国家試験の合格発表と専門看護師課程について

このたびの東北太平洋沖地震による災害におきまして、被害にあわれた皆様、ご家族の皆様にお見舞いを申し上げます。また、犠牲となりました方々のご冥福を心より祈りいたします。

平成 23 年 2 月に実施された保健師・助産師・看護師国家試験の合格者が発表されました。本学受験者の合格率は、看護師と助産師は 100% で全員合格です。保健師は新卒 2 名 (編入学 1 名を含む) と既卒 1 名の不合格がでしたが、病院看護師として就職予定で支障はありません。本来ならば晴れがましいセレモニーであるはずの卒業式や謝恩会が、大震災後で、祝辞を述べるのが躊躇われるような雰囲気でしたが、卒業生全員が喜ぶべき結果を出してくれましたので、私たち教職員一同も安心しました。4 月からは看護職としての資格に適った仕事をぜひ頑張ってください。また、平成 23 年度から本学大学院修士課程で専門看護師 (慢性看護) の教育コースを開始します。卒後のキャリアアップとして、多くの卒業生が進学してくれることを期待しています。(藤田君支)

保健師、助産師、看護師国家試験の合格発表の結果
(平成 23 年 3 月 25 日発表)

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率	
看護師 新卒	60	60	100%	全国平均
既卒	-	-	-	合格率91.8%
保健師 新卒	68	66	97.1%	全国平均
既卒	2	1	50%	合格率86.3%
助産師 新卒	6	6	100%	全国平均
既卒	-	-	-	合格率97.2%

本学の TBL プログラム評価のために、シンガポール DUKE 大学を訪問しました

H22 年度は、本学の教育プロジェクト「実践臨床医要養成への問題基盤型学習の実質化」(文部科学省 GP) の最終年度でした。本プログラムの柱の一つは、問題基盤型学習 (PBL: Problem-based Learning) をより効果的・現実的なものにするために、PBL を中心に実施してきた臨床医学教育課程をチーム基盤型学習 (TBL: Team-based Learning) とのハイブリッドカリキュラムにすることでした。正式導入から半年を経て、本学の TBL プログラムを評価するために、本学の TBL のモデルとなった DUKE-NUS (米国 DUKE 大学が運営する National University of Singapore, Graduate Medical School) を訪問しました。

本学の参加者は小田康友 (Phase チェアマン) と、青木洋介准教授 (感染制御部)、野口満准教授 (泌尿器科) で、DUKE-NUS では Robert Kamei 副学部長をはじめ、教育部門の主要スタッフが、非常に密度の濃い 2 日間の視察と討論に応じてくれました。世界屈指の教育先進大学である DUKE-NUS の学生の積極性には圧倒される思いでしたが、それを引き出す TBL スタッフの熱意、システム・設備には、大きく学ぶことができました。

GP は終了しましたが、医療教育部門および Phase 検討部会では、このような調査・評価結果を教育に反映させ、引き続きカリキュラム開発につとめていきます。

(小田康友)

DUKE-NUS

<http://www.duke-nus.edu.sg/web/index.php>



教育広報部会

小田康友、市場正良、吉田和代、
江村正、藤田君支、本間治
ご意見をお待ちしています (oday@cc.saga-u.ac.jp)